

テーマ

Action ResearchからOrganization DevelopmentとHuman Developmentを研究して現実を変えます

適用分野

人・集団・組織・コミュニティ
開発の実態調査と変革実践家
養成と実践変革支援

研究名称

Action Research: OD (Organization Development):
HD (Human Development)

氏名
所属

西川 耕平 教授
全学共通教育センター

内容

●特徴： 変革実践家が、クライアントとしての集団・組織・コミュニティの変革努力に関わりながら、最終的にはクライアント、自らが変革能力を獲得して、持続的な成長・発達を実現するというODの研究を、主に海外のアメリカの大学研究者や、世界各地の実践家や実践家コミュニティと共に続けてきました。アメリカASHOKA (*1) の理念を大学で実現するために集まる、ASHOKA U EXCHANGEで大学関係者と定期的に交流し、また、ASHOKA Japanの支援者として、東北震災地域やと過疎地のコミュニティ再開発に打ち込む若者の社会起業家の心理的な支援や実態調査をしてきました。この一部は、エラスティクス (*2) の異文化交流企画として、韓陽大学のSocial Innovation Centerとの共同クラスを、2年続けてきました。

●研究内容： 大人を対象にした、しかも組織変革や地域社会開発をテーマとするため、残念ながら大学の講義として提供できる範囲には限りがありますが、調査研究と具体的な実践の循環を実現するために、具体的なコンサルタントや実践家の現場に立ち会い、コンサルタント達や経営者達と、共にフィードバックする過程から、まとまった事例を海外に向けて発信してきました。

以下は論文として掲載された一部です。

The Reality That We Take on: A Humanistic Change in IT Venture Company, (2019)

South Asian Journal of Business and Management Cases, 10.1177/2277977918803249

ISSN: 2277-9779

Who Constructs the Path We take? A Case Study of Nakatsuka Metal and Foil Company, (2017)

South Asian Journal of Business and Management Cases, 10.1177/2277977917696542

ISSN: 2277-9779

Who Leads Change Processes?: From the Case Study of Japan Railways Kyusyu , (2014)

South Asian Journal of Business and Management Cases, 10.1177/2277977914525283

ISSN: 2277-9779

(*1) ASHOKAとは、Skoll Foundationと並んで、ビル・ドレイトンによって始められた、アメリカシントンDCに本拠のある、社会起業家を物心両面から支援する組織であり、日本にも2011年から支部がある。

<https://www.ashoka.org/ja/country/japan>

(*2) エラスティクスとは、甲南大学の学生の留学支援活動の一つとして、専任教員指導の下で、日本語か簡単な英語で海外大学の講義・実習、社会・企業訪問を、1週間ほど体験する事で、旅行とは違う学生生活体験をする一連の講義を意味します。

キーワード

アクションリサーチ 組織開発 ポジティブ組織論 倫理・哲学

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究